

「おんせん県おおいた∞世界温泉地サミット 開催！」

5月25日（金）環境省主催「第3回全国温泉地サミット」会合を皮切りに、翌日「世界温泉地サミット」開会式、全体会合が開催されました。スペインのヨランダ・ペルモド前国連世界観光機関部門長による基調講演、フランス、イタリア、アイスランドの参加者による事例発表があり、午後は3つの分科会（観光／医療・健康・美容／エネルギー）にわかれてパネリストが多様な意見を交わした。17：00からそれらの分科会合同会議を経て、サミット宣言を採択しました。



「官民それぞれが特色を出して温泉地の活性化に取り組んでいく」ことが確認されました。共同記者会見にはNHK等日本メディアの他、海外メディア 20 社も加わり、活発な取材が行われました。参加は海外 16 カ国 100 名、日本全国 75 自治体、122 の団体から約 1000 名でビーコン全体が熱気（温泉気）で溢れました。併設イベントとして「世界温泉地観光物産展」をコンベンションホールで



開催、全国自治体や企業など 80 団体が出展しました。観光情報の紹介や特産品の展示・販売のほか、地獄蒸しプリンや温泉水のアイス、参加国や温泉地にちなんだ飲食ブースも出展しました。ステージでは映像による世界各地の観光PR映像や、タレントからのビデオメッセージも披露しました。

また、本年開催の国民文化祭 in 大分のPRも兼ねた、由布高校・郷土芸能部の「庄内神楽」のステージは圧巻で、大歓声に包まれました。太鼓実演などもあり、大分県で開催の、アルゲリッチ音楽祭、国民文化祭、六郷満山開山 1300 年、ラグビーワールドカップのPRブースもエントランスに設置して、一般のお客様に幅広くPRしました。